令和7年度　江戸川区立南小岩小学校

道徳教育全体計画

校長名　　吉田　友信

【法的根拠】
日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

学校の教育目標

・よく考える子
・思いやりのある子
・たくましい子

＜児童の実態＞
・明るく、素直である。
・自己肯定感が低く、自信のない児童が多い。

＜保護者・地域の願い＞
・友達と仲良く過ごす。
・楽しく学校生活を送る。
・地域とすすんで関わる。

＜教師の願い＞
・自分に自信をもつ。
・自分らしく成長する。
・家族、友達、社会を大切にする。

学校の道徳教育の重点目標
規範意識をもち、共によりよく生きようとする児童の育成

各学年の指導の重点目標

第1学年及び2学年
基本的生活習慣と社会生活上のきまりを身に付ける。

第3学年及び4学年
集団や社会のきまりを守り、身近な人々と協力し、助け合う態度を身に付ける。

第5学年及び6学年
相手の立場を理解し、支え合う態度を身につけ、集団における役割と責任を果たす。

各教科における道徳教育

国語
伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。言語感覚を豊かにする。

社会
地域社会に対する誇りや愛情、我が国の国土と歴史に対する愛情を涵養する。公民としての資質・能力の基礎を養う。

算数
見通しをもち、筋道を立てて考察する力を養う。学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

理科
自然を愛する心情を育てる。見通しをもって観察、実験を行い、問題解決の力を育てる。

生活
自然との関わりに関心をもち、自分自身について考えさせ、生活上必要な習慣を身に付けられるようにする。

音楽
音楽を愛好する心情や音楽に対する感性を育み、豊かな情操を養う。

図画工作
つくりだす喜びを味わわせ、造形的な創造による豊かな情操を養う。

家庭
生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を高め、家庭生活を大切にする心情を育む。

体育
自己の課題の解決に向けて運動し、集団で楽しくゲームを行えるようにする。健康・安全についての理解を深める。

補充・深化・統合

「特別の教科　道徳」の時間の指導方針

各学年の重点内容項目
1年　基本的な生活習慣
2年　社会生活上のきまり
3年　集団や社会のきまり
4年　身近な人々と協力し助け合う態度
5年　相手の立場を理解し、支え合う態度
6年　集団における役割と責任を果たす態度

指導方針
・児童の発達段階に応じて、学年の重点指導目標を定め、全教育活動で道徳的価値を計画的・発展的に指導し、道徳的実践力を育てる。

指導の工夫
・低学年では、基本的生活習慣の育成とともに身近にいる友達と素直な心で接し、自他とともに認め合う心を育てるよう指導する。
・中学年では、温かい心と相手に対する思いやりの心を育てる。親切な行為は、相手のことを考えてできるように指導する。
・高学年では、身近な集団に主体的に参加させ、役割と責任を果たさせる。友達同士、相互信頼のもと真の友情が育つように指導する。

補充・深化・統合

外国語・外国語活動
言語やその背景にある文化に対する理解を深める。他者に配慮する心情を養う。

総合的な学習の時間
活動や体験を通して、主体的に判断することや粘り強く考え解決する力、自己の目標を実現させ、他者と協調して生活する心情や態度を育む。

特別活動

学級活動
集団の一員として学級におけるよりよい生活づくりをしようとする。

児童会活動
楽しく豊かな学校の生活をつくろうとする。

クラブ活動
自分の良いところを伸ばし、主体的に集団に参加し、協力する。

学校行事
望ましい人間関係を形成し、協力してよりよい学校生活を築こうとする。

楽しい学校生活と豊かな人間関係の構築
・相手を思いやって協力し、集団への帰属意識を高める縦割り班活動（全校遠足・縦割り班遊びなど）、ペア学年（集会・スポーツテストなど）を実施する。

インクルーシブ教育
・多様性を尊重し、国籍や人種、宗教、障害に関わらず共に学んでいこうとする力を育成する。
・通常学級と特別支援学級との交流学習を行う。

生活指導
・学習ルールを確立する。
・いじめアンケートを実施する。
・hyperーQUを実施する。

環境整備
・人権やプライバシーに配慮した作品の掲示に努める。
・他者を尊重する呼称の徹底をする。

家庭・地域との連携
・学校・家庭・地域社会との相互理解を進めるために、「道徳地区公開講座」を実施する。

推進体制
・校内研究を実施する。
・道徳教育推進教師を中心に、人権尊重教育担当、生活指導部との連携を深め、定期的な部会の実施と、区や都の研修報告等を行う。